



(左から)小林さん、杉本さん、金子さん、川上取手署長

川岸工業 取手警察署が 社員3人に感謝状を授与

茨城県取手市の取手警察署は15日、川岸工業(本社・東京都港区、清時康夫社長)の社員3人が、行方不明になってい

た高齢者の安全確保をしたことに対し、感謝状を授与した。感謝状の受領者は同社・品質管理部の小林秀也氏さん、製造三

課の杉本幸樹さん、製造三課の金子立興さんの3人。

今年6月の勤務後の夜、乗用車2台に3人が分乗して河川敷をド

ライブしていたとき、泥だらけで何も持たず、自転車を押している高齢男性を発見。大声で声掛けをしたが会話が成立しな

かったため、110番をした上で、金子さんの運転する車に男性を同乗させ、杉本さんが運転する車の後ろに男性の自転車

を載せて、最寄りの交番まで運んだ。

「河川敷のすぐ先は利根川。放っておけないと思った。会社の仲間3人でいたので協力してここまでのことができたのだと思う」と杉本さんは話

す。金子さんは「交番に男性を引き渡せたときは安心した」と回想した。実際に、男性は行方不明

届の出ている人物だったという。取手警察署の川上署長は「高齢者が行方不明になる事案が多い中、3人の勇気ある行動に感謝している。地域の安全を守っていただいた感謝を伝えたかった」と語った。「困っている人がいたら助けるという当たり前でもなかなかできないことを、今後も心掛けていきたい」と3人は一様に語った。